

新名音川発電所(鹿児島県)が、6 月 9 日に営業運転を開始しました。

～奄美大島での既存水力発電所の再開発～

当社は、鹿児島県大島郡大和村において、名音川発電所再開発の工事を平成 26 年 9 月より進めてまいりましたが、電気事業法に基づく使用前自主検査を終了し、本日、営業運転を開始しましたので、お知らせします。

名音川発電所は、昭和 31 年から 58 年間運転を継続していましたが、主要機器等の老朽化が顕著であったため、設備の更新時期に合わせて廃止し、新たに再開発工事を実施し、最大出力を 65kW から 370kW へ増強しました。

これにより、年間の発電電力量は約 0.5 百万 kWh から約 2.0 百万 kWh に増加することを想定しており、これは一般家庭約 600 世帯が 1 年間に使用する電力量に相当します。

当社は、今後も地球温暖化への対応及び国産エネルギー有効活用の観点から、水力などの再生可能エネルギーの積極的な開発、導入に努めてまいります。

〔新名音川発電所の概要〕

- かごしまけんおおしまぐんやまとそん
- 発電所所在地 : 鹿児島県大島郡大和村
 - 水系及び河川名 : 名音川水系名音川
 - 最大使用水量 : 0.6 m³/s [0.138]
 - 有効落差 : 76.87m
 - 最大出力 : 370 kW [65]
 - 年間発電電力量 : 約 2.0 百万 kWh [0.5]

(注)〔 〕内は、再開発前の数値

奄美大島



発電所位置図